

ハマフエフキの中間育成

木村 基文*1・宮城美加代*2

1. 目的

平成14年度は養殖用の大型種苗(全長 50mm)13.8万尾を生産する(資料-I, P-126)。

2. 材料と方法

中間育成は、種苗生産回次1・7・8回の種苗17.6万尾(13.3~34.9mm)を用いた。飼育は、屋内50kℓ円形水槽2面で開始し、成長に応じ100kℓ円形水槽1面と50kℓ水槽1面で行った。

給餌は各水槽に自動給餌機2~4台を設置し、配合飼料を給餌した。給餌量は稚魚の魚体重を適宜測定し、一日あたり魚体重の3~15%量を給餌した。

底掃除は毎日行い、回収された斃死魚の計数を行うことで、生残数の推定を行った。

出荷時は手作業により全長50mm以下の個体と骨格異常魚の選別を行い、ベルトコンベアー式のフィッシュカウンターを用いて計数を行った。

表1 ハマフエフキの中間育成結果

種苗生産	生産回次 (回)	1	-	7	8	合計
	生産水槽 (水槽名)	C-5	-	C-6	C-3	
	取上平均全長 (mm)	18.1	23.7	26.3	24.3	
中間育成	生産回次 (回)	1	1	2		
	開始日齢 (日)	48	61	51	55	
	開始年月日 (月日)	2002/4/30	2002/5/13	2002/5/28	2002/6/3	
	生産水槽 (水槽名)	C-4	C-5	C-4	C-4に統合	
	水槽規模 (kl)	50	100	50		
	稚魚の収容数 (尾)	134,000	(105,586)	20,000	22,400	176,400
	開始密度 (尾/kl)	2,680	1,056	848		
	飼育日数 (日)	13	23	15		
	取上年月日 (月日)	2002/5/13	2002/6/5	2002/6/11		
	取上尾数 (尾)	105,586	77,981	50,188		128,169
	生残率 (%)	78.8	58.2	100		72.7
	取上平均全長 (mm)	23.7	62.1	41.1		
	飼育水温 (°C)	23.5~25.6	25.1~26.5	25.2~25.6		
	備考	C-5に移送 大型養殖用配布小型養殖用(3万) 放流用(2万)				

3. 結果

平成14年度の中間育成結果を表1に示した。

中間育成1回次の生残率は、種苗生産取り上げ日齢が早く、58.2%と低い結果となった。最終取り上げ尾数は77,981尾(平均全長62.1mm)であった(表1)。飼育密度は、100kℓ水槽当たり全長62mmの種苗を約8万尾を生産し、800尾/1kℓ(魚体重2.8kg/kℓ)であった。養殖用の大型種苗の要望数は、需要調査では13.8万尾であったが、配布前の変更要望数は7.7万尾に減少した。よっ

て、1回次の種苗は、養殖用として配布し、要望数を満たした。

中間育成2回次の生残率は、種苗の計数誤差のため結果的に100%となった(表1)。最終取り上げ尾数は50,188尾(平均全長41.1mm)であった。飼育密度は、50kℓ水槽当たり全長41mmの種苗を約5万尾を生産し、1,000尾/1kℓ(魚体重1.0kg/kl)であった。この種苗は、養殖用の小型種苗として3万尾、放流用種苗として2万尾配布した。

*1: 執筆者、*2: 主担当